

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場会社名 ソマール株式会社

上場取引所 東

コード番号 8152 URL <http://www.somar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 常川 謙二

問合せ先責任者 (役職名) F&amp;A部長

(氏名) 今井原 俊彦

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-3542-2152

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	12,376	—	55	—	42	—	5	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	0.29	—
21年3月期第2四半期	—	—

(注)平成21年3月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、平成21年3月期第2四半期の連結経営成績(累計)は記載しておりません。また、対前年同四半期増減率についても記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
22年3月期第2四半期	23,951		15,054		62.9	773.57		
21年3月期	21,559		15,089		70.0	775.24		

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 15,054百万円 21年3月期 15,089百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00			
22年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,283	△7.4	378	—	334	—	197	—	10.12

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	19,587,349株	21年3月期	19,587,349株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	125,677株	21年3月期	123,677株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	19,462,485株	21年3月期第2四半期	19,476,775株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や輸出の持ち直しなどから、在庫調整の進展もみられ景気の悪化に底打ちの兆しが出てきましたが、企業収益の悪化を背景とした設備投資の抑制、厳しい雇用情勢、さらには個人消費の低迷などで、引き続き厳しい状況が続きました。

当社グループの主要な関係業界におきましても、自動車部品や一部の電子部品の業界では需要が回復傾向となつてはきましたが、全体的には需要レベルは依然として低調な状況で推移しました。

このような情勢下、当社グループは全部門にわたって業務効率のさらなる改善やコスト削減の徹底を図るとともに、高付加価値製品関連ビジネスや中国・アジア市場を中心としたグローバル展開の強化へ経営資源をさらにシフトさせ、経営の変革に努めてまいりました。しかしながら、大きく落ち込んだ関係業界の需要はまだまだ低迷した状況にあり、これが当期間の業績に大きく影響いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は123億7千6百万円、営業利益は5千5百万円、経常利益は4千2百万円、四半期純利益は5百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [高機能材料事業]

高機能材料事業は、電子部品や自動車部品の業界で生産活動の回復傾向が一部に出始めましたが、全体的には関係業界の需要が依然として低迷し厳しい状況が続きました。そうした中で、高付加価値製品化へのビジネスシフトをさらに進め、関連製品の販売強化を通して新たなニーズの発掘と迅速な対応を行いながら需要の喚起に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業全体の売上高は85億2千8百万円、営業利益は1億2千6百万円となりました。

主な製商品群の概況は次のとおりであります。

## (コーティング製品)

主力の高機能フィルムは、関係業界の需要が依然として低迷する中で、携帯電話やHDD（ハードディスクドライブ）向けフレキシブル回路基板用途の需要が徐々に回復してきたこと、さらには電子部品用途での市場開発や拡販活動などの成果も出始めたことで、全体としては減収ながらも前年同期に近いレベルまで回復しました。

## (高機能樹脂製品)

電気絶縁用樹脂や電子部品用接着・封止樹脂は、自動車部品や電子部品の業界向け需要がやや回復し持ち直しの状況となつてはきましたが、需要の回復レベルは依然として低水準であり、かなりの減収となりました。

## (電子材料)

フレキシブル回路基板材料は、HDD、携帯電話、デジタルカメラの用途で需要が回復傾向となつてきましたが、その他の主要用途では需要が相変わらず低迷しました。また、電気絶縁用アラミッド材料は、自動車部品関係で需要が回復傾向となり、また、特殊用途向け市場開発の成果も出始めましたが、主要な重電関係では依然として需要が大きく落ち込んだまま推移しました。その結果、電子材料全体ではかなりの減収となりました。

## (機能性樹脂)

熱硬化性樹脂は、主力のプリント基板業界向け需要が大きく落ち込んだまま推移しました。また、熱可塑性樹脂は、家電製品業界向け需要が引き続き低迷したことに加え、一部販売先への商流変更もあつて減収要因となりました。その結果、機能性樹脂全体では大きく減収となりました。

## [環境材料事業]

環境材料事業は、主要顧客である製紙業界において市場開発や販売シェアのアップといった拡販活動を鋭意行いその成果が着実に進んでおりますが、全体的には製紙業界の減産強化による需要の大きな落ち込みや、主要販売商品におけるナフサ価格に連動した販売価格の値下げなどが売上に大きく影響しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業全体の売上高は34億3千7百万円、営業利益は6千7百万円となりました。

主な製商品群の概況は次のとおりであります。

## (ファインケミカルズ)

歩留剤等の製紙用ケミカルズは、塗工紙の大幅減産という厳しい状況下にも関わらず拡販活動の成果が着実に進んで小幅な減収に留まりました。しかし、工業用殺菌剤を含めたファインケミカルズ全体では、製紙業界の需要減が大きく影響して、減収となりました。

## (製紙用化学品)

製紙業界の減産強化の継続で需要が大きく減少したこと、さらにはナフサ価格に連動した関係商品の販売価格の値下げなどが影響し、紙塗工用バインダーなどの製紙用化学品は大きく減収となりました。

## [その他の事業]

その他の事業は、主体の食品材料が拡販に努めたものの個人消費の低迷による需要減や円高による販売価格の値下げで減収となり、その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業全体の売上高は4億1千万円、営業利益は6千2百万円となりました。

なお、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。また、上記金額には消費税等は含まれておりません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、239億5千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億9千2百万円の増加となりました。これは主に、たな卸資産が6億8千9百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が17億3千5百万円、現金及び預金が14億7千1百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債については、88億9千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億2千6百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が11億7千5百万円、長期借入金が7億円、1年内返済予定の長期借入金が3億円それぞれ増加したことによるものです。

純資産については、150億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して3千4百万円の減少となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が5千8百万円、為替換算調整勘定が2千2百万円増加したものの、利益剰余金が1億1千4百万円減少（5百万円の四半期純利益、9千7百万円の剰余金の配当及び2千2百万円の連結範囲の変動による減少）したことによるものです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、65億1千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億7千1百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億4千万円の資金増加となりました。その主な要因は、売上債権が17億2千5百万円増加したこと、仕入債務が11億6千3百万円増加したこと、たな卸資産が6億9千3百万円減少したこと、減価償却費を3億2千4百万円計上したこと、及び法人税等の還付額を2億3千8百万円計上したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億2千3百万円の資金減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得として3億2千4百万円支出したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億5千2百万円の資金増加となりました。その主な要因は、長期借入金の借入れを12億円実行したこと、短期借入金の借入れを5千万円実行したこと、長期借入金の約定返済により2億円支出したこと、及び配当金として9千7百万円を支出したことによるものです。

なお、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月29日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

減価償却の方法として、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,516,206	5,044,898
受取手形及び売掛金	8,247,916	6,512,756
有価証券	198,363	338,947
たな卸資産	1,761,736	2,451,371
その他	371,548	523,876
貸倒引当金	△13,347	△6,927
流動資産合計	17,082,424	14,864,922
固定資産		
有形固定資産	3,312,659	3,178,869
無形固定資産	221,166	260,430
投資その他の資産		
投資有価証券	1,468,109	1,391,924
その他	2,399,843	2,396,441
貸倒引当金	△532,500	△533,224
投資その他の資産合計	3,335,452	3,255,141
固定資産合計	6,869,278	6,694,441
資産合計	23,951,703	21,559,363
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,137,123	2,961,832
短期借入金	500,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	1,200,000
未払法人税等	25,100	21,929
賞与引当金	135,000	129,000
その他	446,581	289,085
流動負債合計	6,743,804	5,051,847
固定負債		
長期借入金	1,600,000	900,000
退職給付引当金	370,586	394,748
役員退職慰労引当金	29,687	54,870
その他	152,720	68,820
固定負債合計	2,152,994	1,418,439
負債合計	8,896,799	6,470,286

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,886,268	4,886,268
利益剰余金	4,866,848	4,981,040
自己株式	△42,867	△42,439
株主資本合計	14,825,473	14,940,093
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	282,522	223,741
繰延ヘッジ損益	△355	229
為替換算調整勘定	△52,736	△74,986
評価・換算差額等合計	229,430	148,983
純資産合計	15,054,903	15,089,077
負債純資産合計	23,951,703	21,559,363

(2) 四半期連結損益計算書  
(前第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	17,080,419
売上原価	15,173,744
売上総利益	1,906,674
販売費及び一般管理費	1,610,383
営業利益	296,290
営業外収益	
受取利息	22,869
受取配当金	17,850
為替差益	16,090
特許権収入	16,985
その他	5,383
営業外収益合計	79,180
営業外費用	
支払利息	25,655
債権売却損	8,869
その他	3,582
営業外費用合計	38,107
経常利益	337,363
特別利益	
投資有価証券償還益	132,443
特別利益合計	132,443
特別損失	
固定資産売却損	2,274
固定資産除却損	9,028
減損損失	16,529
貸倒引当金繰入額	144,959
その他	3,980
特別損失合計	176,772
税引前四半期純利益	293,034
法人税、住民税及び事業税	178,000
法人税等調整額	△39,313
法人税等合計	138,686
四半期純利益	154,347



(当第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
売上高	12,376,287
売上原価	10,902,912
売上総利益	1,473,375
販売費及び一般管理費	1,417,489
営業利益	55,885
営業外収益	
受取利息	9,037
受取配当金	12,742
その他	19,014
営業外収益合計	40,793
営業外費用	
支払利息	31,442
債権売却損	4,062
為替差損	15,426
その他	3,370
営業外費用合計	54,301
経常利益	42,378
特別利益	
投資有価証券償還益	26,637
特別利益合計	26,637
特別損失	
固定資産売却損	1,749
固定資産除却損	13,335
投資有価証券評価損	5,000
投資有価証券償還損	8,503
特別損失合計	28,588
税金等調整前四半期純利益	40,427
法人税、住民税及び事業税	22,080
法人税等調整額	12,777
法人税等合計	34,857
四半期純利益	5,569

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
(前第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	293,034
減価償却費	318,084
減損損失	16,529
貸倒引当金の増減額(△は減少)	144,959
受取利息及び受取配当金	△40,720
支払利息	25,655
為替差損益(△は益)	16,090
売上債権の増減額(△は増加)	1,039,133
たな卸資産の増減額(△は増加)	△388,525
仕入債務の増減額(△は減少)	△677,879
その他	△213,086
小計	533,276
利息及び配当金の受取額	40,720
利息の支払額	△26,422
法人税等の支払額	△410,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,361
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△308,712
投資有価証券の取得による支出	△6,859
投資有価証券の償還による収入	244,123
株式売却代金の回収による収入	350,000
関係会社株式の取得による支出	△50,000
その他	△13,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	215,344
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	250,000
長期借入金の返済による支出	△550,000
自己株式の取得による支出	△1,980
配当金の支払額	△97,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△399,680
現金及び現金同等物に係る換算差額	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△46,966
現金及び現金同等物の期首残高	4,555,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,508,961

(当第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	40,427
減価償却費	324,266
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,695
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△24,161
受取利息及び受取配当金	△21,779
支払利息	31,442
固定資産売却損益 (△は益)	1,749
固定資産除却損	13,335
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,000
投資有価証券償還損益 (△は益)	△18,133
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,725,973
たな卸資産の増減額 (△は増加)	693,536
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,163,295
その他	39,298
<b>小計</b>	<b>533,997</b>
利息及び配当金の受取額	22,665
利息の支払額	△31,550
法人税等の支払額	△23,721
法人税等の還付額	238,875
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>740,267</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△324,138
有形固定資産の売却による収入	180
投資有価証券の取得による支出	△607
その他	1,244
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△323,321</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	50,000
長期借入れによる収入	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△200,000
自己株式の取得による支出	△427
配当金の支払額	△97,411
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>952,160</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,776
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>1,382,883</b>
現金及び現金同等物の期首残高	5,044,898
<b>新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>88,424</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,516,206

前第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書に代えて、前第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

また、前第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	高機能材料 事業 (千円)	環境材料 事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,528,134	3,437,612	410,541	12,376,287	—	12,376,287
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,528,134	3,437,612	410,541	12,376,287	—	12,376,287
営業利益又は 営業損失(△)	126,302	67,563	62,673	256,539	△200,653	55,885

(注) 前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

日本の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

また、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期連結累計期間の所在地別セグメント情報は記載しておりません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

また、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期連結累計期間の海外売上高は記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。